Faculty of Architecture and Urban Design
Department of Architecture
Department of Urban and Civil Engineering



建築都市デザイン学部を新設

2020 年 4 月　学部学科を再編

■建築都市デザイン学部

建築都市デザイン学部は、工学、自然科学、社会科学を基礎として、人間が生活する上で必要な、建築・社会基盤施設から都市空間までをフィールドとし、持続的な建築・都市の創造・再生を実現するための学問を教育・研究対象としています。本学部は建築学科と都市工学科から構成され、学部名にある「デザイン」をキーワードとして、建築や都市をデザインしていく上での課題解決のための手法を学ぶことを目指しています。

■学科・定員

・建築都市デザイン学部　建築学科　（現：工学部 建築学科）　120 名
・建築都市デザイン学部　都市工学科　（現：工学部 都市工学科）　100 名

■教育・研究の目標

「住環境から都市環境ひいては地球環境まで」の広い視点で建築都市の諸問題の学問追求を行うという教育理念のもと、現実に即したアイディアと理論的裏付けによって、建築や都市工学の諸問題に対応できる技術的能力・デザイン能力を備えた人材を養成すること目標としています。

建築都市デザイン学部は、建築環境から都市環境まで、建築デザインから都市デザインまでを総合的に扱う新しい学部として誕生します。

■歴史ある２学科を継承しています

建築都市デザイン学部を構成する建築学科と都市工学科は、本学の前身校である武蔵高等工科学校の昭和４年創立時の３学科の内の２学科である建築工学科と土木工学科をルーツとしています。両学科は建学以来、約 90 年にわたり共に発展し、建設関係を中心として、多くの人材を輩出しています。就職先としては共通する分野が多く卒業生は公務員や設計事務所、建設会社、コンサルタント会社などに就職しており卒業生間の交流も盛んです。

東京都市大学 TOKYO CITY UNIVERSITY 90th

Faculty of Architecture and Urban Design
Department of Architecture
Department of Urban and Civil Engineering


建築学科



都市工学科

■建築学科

建築都市デザイン学部は、工学、自然科学、社会科学を基礎として、人間が生活する上で必要な、建築・社会基盤施設から都市空間までをフィールドとし、持続的な建築・都市の創造・再生を実現するための学問を教育・研究対象としています。本学部は建築学科と都市工学科から構成され、学部名にある「デザイン」をキーワードとして、建築や都市をデザインしていく上での課題解決のための手法を学ぶことを目指しています。

・中心的な学問領域

「建築計画・設計」「建築構造」「建築環境設備」「建築生産・材料」

・カリキュラム

1年次では主に工学および建築都市デザイン学における基礎学力を、2年次では建築学の基礎的専門科目を学修し、3年次後期以降では各自の進路・適性に合せて専門性を高めていきます。このカリキュラムの中では、最低限知っておく必要がある内容が必修科目となっています。

・主な資格

卒業すると同時に、全卒業生が一級建築士試験を受験することができます。

■都市工学科

・教育上の目標

「工学の基礎力及びシビルエンジニアリングに関する実務の理解・デザイン能力を含む総合的問題解決能力をそなえた、社会の中核となる人材を育成すること、並びに人間―自然環境―社会システムの健全かつ持続的な共生関係を理解し、安全で快適な都市環境の実現に向けて、都市の構築・維持管理、都市環境の改善・創造、及び災害に強い都市づくりに貢献できるエンジニアを養成する」ことを人材の養成及び教育研究上の目的としています。

・中心的な学問領域

「都市デザイン」「都市環境」「都市防災」

・カリキュラム

１年次では主として工学全般の基礎学力を、２年次では都市工学の基礎的専門科目を、３年次ではより専門性の高い科目を学習します。３年次後期以降では、各自の進路・適性に合せて事例研究や卒業研究を通して、専門性を高めていきます。

・主な資格

都市工学科の教育プログラムはJABEE認定されており、卒業することで、「技術士一次試験は免除され、登録することにより、「技術士補」の資格を得ることができます。また、所定の授業科目の単位取得により、測量士補の登録申請する資格を得ることができます。